

市民活動による地域活性化を目指して

第21回 **鳴門市市民活動交流研修会**

犯罪や事故のない安心して暮らせるまちづくりを

第29回 **安全なまちを考える市民の集い**

消費行動の影響をしっかりと考えよう

第88回 **鳴門市消費者の市・消費生活展**

令和6年1月27日（土曜日）、うずしお会館2階で「第21回鳴門市市民活動交流研修会」、「第29回安全なまちを考える市民の集い」、「第88回鳴門市消費者の市・消費生活展」が同時開催されました。

午後1時からの開会式の後、交通安全啓発の寸劇、消費生活に関する発表、市民活動に関する報告、消費生活に関する記念公演が行われました。



市民活動交流研修会
実行委員の大黒会長挨拶



市長の挨拶



鳴門警察署 署長の挨拶

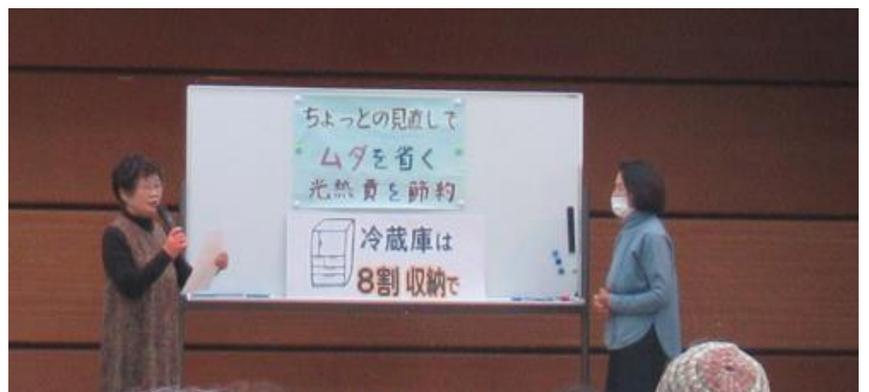
交通安全啓発の寸劇

☆劇団ひまわりによる寸劇が披露されました



消費生活に関する発表

☆鳴門消費者協会による発表がされました



ちょっとした見直しで
ムダを省く
光熱費を節約
冷蔵庫は
8割収納で

ちょっとした見直しで
ムダを省く
光熱費を節約
冷蔵庫は
8割収納で

市民活動に関する活動報告

各団体が取り組まれている活動について発表していただきました

「NPO法人 環境徳島ネットワーク」

環境課題の解決に向けた活動を展開。
具体的な活動内容と、海洋漂着ごみ回収活動の取り組みと報告、パネル展示をしていただきました。



こんな活動しています。 ... <ACTIVITY>

<p>エコの森づくり活動 (上勝丸山・遊学の森再生)</p>	<p>3.11絆と折り桜プロジェクト</p>	<p>せとうち海環の清掃活動 「ゴミ箱になった海」再生化プロジェクト</p>
<p>エコ風呂兼活用出前「包み」講座</p>	<p>環境Stあわ踊り0812</p>	<p>再エネ活用+地域再生プロジェクト</p>



鳴門市の蒸気機関車 C1166を守る会

サブタイトルを入力



「鳴門市の蒸気機関車 C1166を守る会」

斎田汽車公園に展示されている、蒸気機関車 C1166 の上屋根が腐食により撤去されました。「未来の子どもたちへのプレゼント」として残していくという考えのもと、錆を落とし、錆止めを塗り、黒のペイントを塗る整備作業を行い、蒸気機関車の展示を維持していく活動報告がありました。

作業風景

- 錆を落とす作業: ワイヤーブラシで磨く前にハンマーでたたく
継ぎ目にある砂を出す 朽ちた鉄板の破片を出す
ワイヤーブラシの大 小を使い分けて錆落とし
- 磨く作業: ペイント塗装ができるように錆ゴミを取り除き磨きあげる
- 塗装: 錆止め塗料の塗布 その後黒の塗料塗布

足場の悪いところもありましたが十分注意を払って作業をしました また 足は地面についているが車輪の内側 タンクの腹廻りなど狭いところに入り作業も行いました



「鳴門渦潮高校家庭クラブ・エシカルクラブ」

家庭クラブは、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、私たちが暮らす地域や学校の課題解決をめざす活動。

エシカルクラブは、日常の身近なところからエシカル消費を実践・啓発し、エシカル消費でつながる社会をめざす活動。

これらの活動報告とパネル展示がありました。



鳴門市フェーズフリーフェスティバル

- ・ 11月5日 ・ 総合学科2・3年次
- ・ 防災絵本の読み聞かせ

にんじゃ先生、いざる！



子どもたちや保護者の方に
防災意識を高めてもらうきっかけに。

徳島県立鳴門渦潮高等学校

鳴門市フードポストの設置

- ・ 11月16日（文化祭）
～一週間設置
- ・ 鳴門市市民協働推進課と連携
- ・ 昨年家庭クラブ生徒が市役所に見学に行ったことをきっかけに



徳島県立鳴門渦潮高等学校

記念講演

消費生活に関する講演会

今日からできるSDGs

～日々の生活から地球の未来を考えてみませんか～



愛媛大学教育学部准教授
竹下 浩子さん

【経歴】

長崎市生まれ。
福岡教育大学教育学部中学校教員養成課程家庭科専攻卒業、奈良女子大学大学院家政学研究科住環境学専攻修了、ドイツベルリン自由大学大学院中退。
帰国後、くらしき作臨大学食文化学部講師を経て2013年10月より現職。
専門は、家庭科教育、消費者教育で、特に小中高等学校での消費と環境についての学びについて研究している。
2018年から2020年に文部科学省の消費者教育推進の受託研究事業をきっかけに、愛媛県の教員や消費生活相談員、行政、NPO等と連携して「えひめ消費者教育研究会」を立ち上げ、消費者教育やSDGsの教材作成、研修会、講演会などを行っている。

持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals)は2015年の国連総会で採択された2030年までの国際目標です。

毎日のようにSDGsという言葉を目にしますが、SDGsをどのように捉えて何を行動するべきなのか、わからないという方も多いのではないのでしょうか。記念講演では食生活や私たちが身に着けている衣類から、地球の未来のために取り組めるSDGsについてご講演いただきます。日本だけでなく、世界の現状について愛媛大学准教授の竹下浩子さんから学んでみませんか。



市民活動団体によるパネル展示



「瀬戸地区自治振興会・瀬戸地区社会福祉協議会」
子ども食堂活動報告パネル展示



「瀬門市自治基本条例」のパネル展示



「瀬門市花街道・地域づくりネットワーク」
緑化推進活動報告
パネル展示

市民協働推進課からのお知らせ

「もったいない」から「ありがとう」へ
家庭で余っている食品を、フードポストにお譲りください

「いただいたけれど、食べられない」といった家庭に余っている食品をお譲りいただき、フードバンク(食料銀行)などを通じて社会福祉施設などの必要としている方に届けます。該当する食品がありましたら、ぜひお譲りください。



【常設置場所】市役所本庁舎2階
市民協働推進課前
【対象食品】常温保存食品で、賞味期限が持参日より2カ月以上あるもの。

例:缶詰、レトルト食品、インスタント食品、調味料、お菓子、飲料(ジュースやお茶)など
※開封済のもの、生鮮食品、冷凍食品、酒類、手作り品はお受けできません。

市役所本庁舎2階に設置してあるフードポストの案内をしました

鳴門市消費生活センター

消費者トラブル・契約トラブルに関するご相談に、専門の資格を持った相談員が応じます。安心してお気軽にご相談ください。

※契約書などの資料があればお持ちください。

【場所】うずしお会館4階

【時間】月～金曜日 9時30分～15時30分
(祝日・年末年始を除く)

【電話】088-686-3776

※土・日にご相談されたい方は、徳島県消費者情報センター(☎088-623-0110 9時～16時)へお電話ください。

※消費者ホットライン 188 (いやや!)
(お住まいの地域の消費生活センターにつながります)



近年、数多く消費生活に関するトラブルの発生が報告されています。

困ったときは、一人で悩まず専門の資格を持った相談員が在中している鳴門市消費生活センターを利用いただくように、案内をしました。

寒い中たくさんの方が集まり、盛りだくさんのプログラムで、あっという間の2時間40分でした。市民活動の取り組みを知ることで、自分たちの街は自分たちで守り、創っていくということ。

記念講演でSDGsについて貴重なお話を聞くことによって、生活の中の少しの改善が地球の未来につながっていくと改めて考えさせられました。

市民活動交流研修会を通じて、いろいろな活動があることを知る機会となりました。